

頑張れサムライブルー！頑張れ自治労連ブルー！

平成26年6月18日

いよいよ2014FIFAワールドカップブラジル大会が始まりました。

15日、日本は初戦のコートジボワール戦、本田の先制でリードを奪ったものの、後半2点を取られ、逆転負けという悔しい結果となってしまいました。

しかし、本当に悔しかったのは、負けたということより、日本らしいプレーがほとんどできなかったことではないでしょうか。

そもそも、普段は違うチームでプレーする選手たちが、数少ない日本代表の試合のときだけ招集されて、良いプレーができるものでしょうか？いくらザックジャパンが一流選手の集合体だとしても、お互いの癖や実力を知らずに、息の合ったプレーをするのは困難なことだと思います。

それでも選手たちは、日本のために日の丸を背負い、君が代を唄い、日本人のプライドを持って「優勝」という同じ目標に向かっていくからこそ、短期間で強いチームに成長するのだと思います。その優勝という目標があるからこそ、そのために個々の努力を惜みず、コミュニケーションを取り合い、お互いを理解しようと努力し、チームとして最大の力を発揮しようとするのです。そして、だからこそ、応援している日本国民も感動するのだと思います。

私たち自治労連執行部は、組合専従ではなく普段は地元の自治体で働く職員です。それが全国組織として存在し、執行委員会のために集まり、定期大会を開催し、運動方針を決定して活動しているわけです。それぞれ普段は違う自治体で違う仕事をしている者同士が、「住民に理解される労働運動を展開しながら組合員の生活を維持向上させていく」という同じ目標を持っているからこそ、45年という長い間、統合もせず独自の労働運動を展開できているのだと思います。少しザックジャパンに似ていると思いませんか？自治労連はチームカラーも日本代表と同じブルーです。

大事なことは日本代表として自分たちのプレーができるかどうか。自治労連として大切なことは自分たちの労働運動を展開できるかどうか。そしてそれは、オリジナルであり、他には真似のできない特色があるはず。だからこそ日本代表らしさ、自治労連らしさ、自分らしさを出すことができ、そこにファンが集まり、組合員が集まるのだと思います。

どんな強豪チームが相手でも、同じ目標に向かってひとつになれば、勝つことができると信じています。20日のギリシャ戦では、それを証明できるような日本らしい試合を期待しています。

ワールドカップはどの国も優勝という目標に向かってのガチンコ勝負！そんな選手たちのために、そしてスポーツを通じての世界平和のためにも、他の国を貶すようなみっともない行為の無いワールドカップブラジル大会となることを願いたいと思います。

頑張れ日本！頑張れ自治労連！